

# 紀要 『アート・リサーチ』 第10号

立命館大学アート・リサーチセンターでは、紀要「アート・リサーチ」第10号を2010年2月下旬(予定)に発行します。本紀要は、アート・リサーチセンターで展開する各研究プロジェクトの活動を広く公開する目的を持つとともに、芸術文化を専門とした学術雑誌として、例年多くの方に投稿いただいております。

アート・リサーチセンターは、1998年度設立当初以来、文化・芸術・情報科学に関する優れた研究拠点として国の複数の補助金に採択され、現在もグローバルCOEプログラムの拠点として採択されるなど、研究を一層深化させています。また、文化芸術のデジタルアーカイブにおける先端的拠点としても、高く評価されています。

左記の内容に合致する研究成果を、奮ってご投稿いただきますよう心よりお待ちしております。

# 原稿募集



誌名	「アート・リサーチ」第10号
体裁	A4版、横書き・縦書きとも2段組
発行時期	2010年2月下旬(予定)
内容	文化・芸術・情報科学に関する論文、調査報告、研究ノートなど。 アート・リサーチセンターに関わる研究プロジェクトのテーマに合致するものは特に好ましい。

スケジュール	2009年9月24日(木) 執筆者登録応募 <input type="checkbox"/> 切厳守
	↓
	2009年9月30日(水) 執筆者登録採否の通知予定
	↓
	2009年11月13日(金) 原稿 <input type="checkbox"/> 切厳守 ※原稿は2名による査読の後、編集委員会により掲載の可否を決定します。
	↓
	2010年2月下旬 刊行(予定)

執筆者登録の応募方法 ご投稿には、あらかじめ執筆者登録が必要になります。期日までに下記の必要事項をE-mailでお知らせください。編集委員会で審議の後、執筆者登録の採否を通知します。

項目	[1] 氏名・氏名(ふりがな) [2] 所属 [3] 役職 [4] 校正原稿などの送付先住所 [5] 電話番号 [6] E-mailアドレス [7] 原稿種類(論文・研究ノート) [8] タイトル(仮でもよい) [9] 概要(200字程度)
申込先	nyoshi@fc.ritsume.ac.jp (担当: 西川) ※件名を「9/24 執筆者登録応募」としてください。
締切日	2009年9月24日(木) 24:00 <input type="checkbox"/> 切厳守 ※ <input type="checkbox"/> を過ぎでの応募は受け付けられませんので、ご注意ください。 ※E-mailでの応募が難しい場合は、アート・リサーチセンター事務局までご相談ください。 ※論文・研究ノート以外の原稿に関しては、アート・リサーチセンター事務局まで事前にご相談ください。 ※ご応募いただいた個人情報は、「アート・リサーチ」の編集目的以外には使いません。ご了承ください。

その他 紀要のバックナンバーをご希望の方は、当センターまでご連絡ください。  
郵送をご希望の方は、送料をご負担いただくことになります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先 アート・リサーチセンター事務局 (担当: 石村、三浦)  
[TEL] 外線: 075-466-3411 内線: (511) 2931 [FAX] 外線: 075-466-3411 内線: (511) 2935  
[E-mail] arc-jimu@arc.ritsume.ac.jp ※件名を「紀要問い合わせ」としてください。

## 立命館大学アート・リサーチセンター紀要 『アート・リサーチ』原稿執筆要綱

1. 執筆資格：本学の専任教員、アート・リサーチセンターで行われる研究プロジェクトに参加する学内外の研究者（大学院生を含む）、および、編集委員会が認めたものとする。なお、学部学生の単独での執筆は認めない。
2. 採否について：投稿された原稿の採否については、2名による査読の結果に基づき、編集委員会において判断する。
3. 原稿の種類：(1) 規定に基づき、寄稿された論文、研究ノート（査読対象）。翻訳原稿については、外国人の講演・寄稿などで編集委員会が適当と認めたものに限る。(2) アート・リサーチセンターに関わる講演記録など、編集委員会が担当教員に依頼したもの。
4. 原稿の枚数  
論文：400字詰め原稿用紙30枚程度とする。  
研究ノート、その他：400字詰め原稿用紙20枚程度とする。  
なお、原稿には、日本語・英語のタイトルを必ずつけることとする。
5. 原稿提出にあたって  
(1) 原稿は完全原稿を提出する。原稿のフォーマットについては別に指示する。  
(2) 締切日を過ぎた原稿は、原則として受け付けない。  
(3) 原稿には、執筆者氏名・所属・職名・メールアドレスを明記すること。
6. 要旨について：掲載原稿については、日本語・英語の要旨を必ずつけることとする。要旨の分量は、日本語は200字、英語は100words程度とする。
7. 査読について：投稿された論文については、2名による査読を行うものとする。査読結果に基づく書き直しを行う際は、必ず変更箇所がわかるように原稿を直すこととする。
8. 校正：執筆者校正は、原則として2回までとし、文章の加筆・訂正は原則として初稿までとする。なお、①初稿の校正が2週間を越えて返却されない場合は、編集委員会の責任で校了する。②再校の校正が10日を越えて返却されない場合は、初稿の校正を最終稿とみなす。
9. 章・節等の区分：本文を章・節等に区分するときは、アラビア数字を用いる。
10. 表記について：  
(1) 日本語原稿の場合は、本文中の文献名については、書名・雑誌名には『』、論文名については「」を用いる。また、外国語文献について訳名を用いる場合には、後に（ ）して原語を入れる。  
(2) 引用文の表記は、2字下げとする。
11. 注記について：日本語原稿の場合は、本文中の注は、その必要箇所の右肩に(1)(2)のようにし、数字の通し番号とする。欧文原稿の場合は1、2のように数字のみの通し番号とする。
12. その他：必要な事項については、編集委員会において判断する。